



# 北海道編「少年よ、大志を抱け、神の為に！」

クラーク博士の熱情を受け継ぐ 矢巻 邦彦

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」  
 ヨシユア記一章十一節  
 “あなた方の神、主があなた方に与えて獲らせようとする地を獲る為に、進み行かなければならない”。

【紹介】北海道にプロテスタントのキリスト教が伝えられたのが、一八七四年。世界のキリスト教史から見れば大変遅い。札幌ペンテコステ教会は地域に神の栄光を放ち、救いの門を開いて福音宣教に励んでいる。

牧師 矢巻 邦彦・絹子

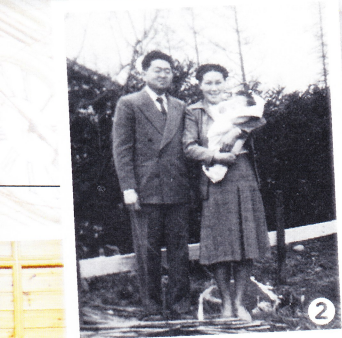
## 《私たちの郷土 北海道札幌》

一八六九年（明治二年）に蝦夷地探検家の松浦武四郎によって、北海道と名付けられ一五〇年経ちました。

彼はアイヌ語の地名「カイ（加伊）」から「北加伊道」とし提案、後に「北海道」と命名されました。北海道の北部に位置する音威子府（おといねつ）村には「北海道命名之地」と記された木碑が建っています。

一八七六年七月にウイリアム・スミス・クラーク博士が、留学生だった新島襄の紹介で、日本政府からの要請を受け、アメリカより札幌農学校（現北海道大学）の教頭として、一年間の契約で来ました。

博士は熱心なクリスチャンで、第一



期生達に聖書を配り、毎日教え、学生達は皆キリストを信じました。

九ヶ月間の滞在を終えてアメリカに帰国する際の別れの挨拶で学生達に語った、有名な言葉は「Boys be ambitious 少年よ、大志を抱け」です。キリスト者の間には「Boys, be ambitious in Christ (God)」の説もあります。郊外で語ったので風の音ではつきりと聞き取れていないと、資料には書かれています。

一九七六年四月に羊ヶ丘展望台に設置された像は、早春の風にひらひらはためくフロックコートを着たクラーク博士が、「ボーイズ・ビー・アンビシャス・イン・クライスト」と叫ぶイメージで、掲げた右手は「遥か彼方の永遠の真理」を指すとされています。

伝道の書一二章一節

ヨシユア記一章十一節

二〇〇〇年、教団事務総会、札幌での開催時にクラーク博士像の前で記念写真を撮りました。①

## 《札幌ペンテコステ教会の歩み》

教会（一九九九年迄は札幌ユナイテッドペンテコステ教会）は一九五二年一月、国際UPC教団の宣教師貫田順師とヨシ工師ご夫妻が、札幌の地で開拓伝道を開始。

②ご夫妻は二世の米国人で片言の日本語で熱心に福音を語られました。ヨシ工先生はお二人の女の子を出産されましたが、下の子が生まれた二ヶ月後、病で召されました。順師は三年後に再婚され、一九六二年二月に日本UPC教団初代の監督に任命されました。

貫田師御一家は一九六四年六月、日本での宣教活動を終えてアメリカに帰国されました。十数年間の宣教で教会が誕生し、矢巻家族が救われ教会の基礎を築いて下さったことは、ただ感謝しかありません。

貫田師の後任には教会献身者の、今誓一郎兄弟が牧師として任命を受け、約十五年間牧会されました。③

（現在八十六歳二〇一七年十月撮影）  
 （矢巻家の救い）私が教会に行き始めたのは六才です。「天国と地獄」のメッセージを聞いた時、「我が家は天国ではなく地獄だ」、「天国があるなら」とイエスを信じる決心をしました。

私の家族は七人で、両親と五人兄弟で私は末っ子です。当時父は肺結核を患い入院、長兄は十八歳で心臓病弁





膜症を患い自宅療養。母も病を抱え、我が家は経済的、精神的、肉体的にも非常に苦しく、まさに「生き地獄」に等しい状況でした。

この様な絶望の家庭にイエス様の救いが訪れ、父や兄の病が癒され社会に復帰することが出来ました。

母の伝道によって救われた方の子どもさんや孫、親族が今も教会に繋がっていることは、イエス様の救いが本物である証拠です。

**(深倉絹子師の救い)** 中学二年生の時に受洗し、二十一歳で献身。京都のUPC聖書学院で学びを終え、札幌の副牧師として仕え、後に苦小牧開拓伝道で四年間、主に用いられました。当時導かれていた小学生が結婚され、四十年後の現在も主に繋がりに、祝福の家庭を築き、今は札幌まで礼拝に来られています。

**(牧師就任と結婚)** 私が三代目の牧師に任命されたのは、一九七六年九月で



7



した。前年九月に深倉絹子師と結婚しました。**④** 仲人は大倉昭元先生ご夫妻、披露宴の司会は藤林邦夫先生が引き受けて下さり、お祝いして頂きました。

**(教会伝道最高のパートナー)**

一九七六〜七年頃、私たち夫婦が牧会の未経験と重責との中で、協力して下さったのはポール・デニス師ご家族でした。**⑤** ある真冬には、瞬間湯沸かし器を、また礼拝堂全面にカーペットを敷きつめる費用を捧げて下さいました。妻の誕生日には札幌グランドホテルにお招き頂き、誕生ケーキと食事でお祝いして下さいました。あの感激は忘れません。

「伝道は人との関係作り」を、身を

もって現わして下さいました。

**(宣教四十周年記念集会)** 一九九二年、開拓から四十年の記念の集会に、高松より恩庄明彦先生をお招きしました。**⑥**

**(LED十字架製作)** 一九九三年に興味の電気技術を生かし、LED赤色発光の十字架を半年かけて造りました。**⑦** 結婚式の後、教会前で撮影。**⑧**

**(永眠者記念集会)** 毎年八月初めの日曜日午後、簾舞霊園の教会納骨堂前で偲ぶ会を持っています。**⑨**

納骨堂は、一九七五年私が神学校卒業の年に教会の皆で造りました。**(新年礼拝)** **⑩** 二〇一八年元旦礼拝で

誕生日を祝って頂きました。

**(母の日&レディースデイ)** 教会は姉妹達の祈りが支えです。**⑪**

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」の御言と、「少年よ、大志を抱け、神の為に！」。このクラーク博士の熱情は、今も札幌の地に生きるクリスチャンの心に受け継がれています。

「あなた方の神、主があなた方に与えて獲らせようとされる地を獲る為に、進み行かなければならない」。北海道は広く、札幌の教会が獲るべき地は多いのです。



8



9



10



11